

聴いてみよう! 眼の健康

放送時間 毎週第4金曜日 10:20 ~ 10:30 放送期間 2012年3月23日まで

8月26日放送分(第5回・眼内レンズ) テキストバージョン

寺田: 海のように広く深い思いやり、慈しみの心をモットーに眼科診療に取り組まれている浜松市中区助信町の海谷眼科院長でいらっしゃいます海谷忠良先生をお迎えして、眼の健康について最新情報を伺います。海谷院長、こんにちは。よろしくお願ひします。

海谷: こんにちは。

寺田: 6月は白内障をテーマに最新の手術法についていろいろお話を伺いました。今月はその白内障手術で使用されるレンズについて詳しいお話をお聞きしてまいります。

白内障は眼の老化によって起こり日常生活において見え方に支障がある場合手術をおこなうというお話でした。白内障手術では眼の中に人工のレンズを入れるということですが、いくつか種類があるそうですね。まずそのレンズについて教えてくださいませんか。

海谷: 白内障手術では自分の本来の水晶体を取るわけですから、それを補正するために人工の眼内レンズを入れます。標準で使用されるのが、単一焦点眼内レンズといって 一ヶ所にしか焦点を結べないレンズです。遠くに合わせると近くが見えないので近くを見る為の眼鏡が必要になり、近くに合わせると遠くが見えないので遠くを見るための眼鏡が必要になります。

そういった不便さを解消するために 最近になって多焦点眼内レンズ、簡単に言えば遠近両用の眼内レンズが出てきました。



パーソナリティーの寺田蘭子さんと、海谷眼科海谷院長

寺田: メガネにもそういったものがありますけど、それと同じということですね

海谷: そうですね。

寺田: そのほかにはどのようなものがありますか？

海谷: 角膜乱視を矯正する眼内レンズもあります。トーリックレンズといいます。眼の一番表面の角膜、その形状がきれいであれば白内障手術をしても歪みや乱視は無いですが、角膜乱視の場合白内障手術をしても乱視が残り、ピントを遠くに合わせても近くに合わせても良く見えないという場合があります。このような乱視が強い場合はメガネでそれを完全に矯正することはできません。そこでトーリックレンズを入れて矯正します。

寺田：今3つのレンズのお話がありました。単一焦点レンズ、遠近両方見やすくなる多焦点レンズ、乱視矯正用のレンズがトーリックレンズということですね。今お話をお聞きしますと、やっぱり遠近両方に対応するレンズがいいなと思ってしまいますが、これは保険の適応についてちょっと違って来るそうですね。

海谷：単一焦点のレンズは完全に保険が適応されます。多焦点眼内レンズの場合は最初は自費診療でしたが、今は先進医療の指定を受けた施設では術前術後の検査や診察は保険適応し、手術代のみ自費となります。混合診療が許された先進医療として認められると、値段が違ってきますね。先進医療でないと片目の手術だけでも50万円～60万円が負担となりますが、先進医療となると負担が軽くなります。

寺田：そしてもうひとつのトーリックレンズですけども、これについてはいかがでしょうか。

海谷：これは単一焦点レンズと同じで保険適応します。このレンズを使用しても単一焦点と同じ保険点数のもとで診療が行われます。

寺田：乱視対応のトーリックレンズでも保険対応しているということですね。手術で使用するレンズによって患者様の見え方はだいぶかわってきますね。

海谷：そうですね。今までの単一焦点レンズであればどちらか見えるけどどちらか見えないうこととなりますが、多焦点レンズの場合は両眼とも1.2という高い視力が出るということは難しいですが、遠くも近くもある程度見えるようになるので生活上は便利だと思います。

寺田：海谷先生はQOV（見え方の質）を追求していっていらっしゃるということなんですが、このQOV（見え方の質）について教えてください。

海谷：白内障手術をしたら見えるようになればいいという考えではなく、遠くも近くも楽に見られて、細かいものも読めるようになりたいなど、どれだけいい視力や見え方になるか、そういうところが今求められていると思います。見えればいいという問題ではなく、いかに質のいい視力を作り上げるかということを追っています。

寺田：QOV　クオリティーオブビジョンは見え方の質を意味します。クオリティーオブライフといいますけども眼の考え方も同じですね。

海谷：そうですね。QOV（見え方の質）を高めて、患者様のQOL（生活の質）の向上に貢献するというのが海谷眼科の理念です。ですから少しでもステップアップできるようにということを常に考えています。

寺田：健やかな毎日を過ごすためにQOV（見え方の質）は本当に大切ですね。

（これはラジオ放送の内容をテキストに書き出したものですが、一部修正を加えてあります。）